

交換留学（派遣）近況報告書

2017-1

留学先大学：ヤゲウォ大学

留学先での所属学部・研究科：Institute of Religious Studies

留学先での在籍身分：交換留学

留学期間：2017 年 10 月～ 2018 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：3 回生

本報告書記入日：2017 年 12 月 25 日

1. 出発前について

1.1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間>

1.2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

国際教育総合センターの教員 所属学部・研究科の教員 友人
 以前に参加した先輩 所属学部・研究科の掲示板 神戸大学のホームページ
 留学フェア その他（具体的に）

1.3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

____ 学術的な目的（研究を深める等） _____ 地理的な条件が良い _____ 1 語学力の向上
____ 2 旅行ができる _____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等） _____ プログラムの時期が良い
____ 家族のバックグラウンドと関係がある _____ プログラムの期間が良い _____ 3 異文化体験
_____ 4 経費が安い _____ 個人的理由 _____ その他（具体的に）

1.4. VISA について

VISA の種類：留学生用 visa (ポーランド国査証 D)

申請先：ポーランド大使館

必要日数：1～2週間

VISA 取得にかかった費用：0円（東京・大阪間の交通費×2回分は別途必要）

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

1.5. 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

予防接種などは特に必要ありませんでした。

1.6. その他に必要なだった手続き、方法、料金等

本報告書記入日：2017年12月25日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

神戸大学の先輩の留学体験記、地球の歩き方、ポーランド留学経験者のブログなどを参考にしました。

住居について

- ・住居のタイプ 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____ 住居（寮，アパート）の名前：Piast
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国：アルメニア） その他（具体的に）
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）
- ・大学までの通学時間・手段：バス・トラムで15～20分、
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

スーパーがすぐ近くにある点はとても便利です。バス停も近いです。トラムの駅は歩いて10分くらいのところにあります。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

できる限り自炊をしています、外食もします。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつけられましたか。トラブルはありませんでしたか。：

ヤゲウォ大学のオンラインでのアプリケーション内に、寮を希望するかどうかを選択する項目がありました。

寮は夏休み中にホテルとして機能しているため、正式の入寮できたのは9月27日でした。私はそれより早くにクラクフに到着していたので、寮の担当の方にメールを送り、25日から寮に宿泊しました。27日に入寮手続きと、部屋の移動をしました。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office 等の仲介 その他（具体的に）コーディネーターと呼ばれる担当者を介しての登録
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

少人数制をとっている授業も多く、人数制限を超えて早々に締め切られてしまうということがありました。このため、私は希望していた授業の登録を1つ逃してしまいました。学部によっては、履修登録期間が始まってすぐに登録した方が良くもありません。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時 間 数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイ スも含めて教えてください。
1	Religion and Identity in Poland	Scott Simpson	90分 ／週	5ECTS	25人	Lecture 形式です。週に30-40ページの リーディング課題があります。全てを完 壁に理解するというよりは、要点を把握 するようにしています。評価基準は、個 人のプレゼンテーション、期末テスト、 期末レポートです。不安であれば、プレ ゼンテーションもレポートも教授が事前 にチェックをしてくれます。
2	Holocaust and its memory in Poland	Marek Kucia	90分 ／週	4ECTS	25人	Discussion 形式です。リーディング課題 に沿って進められることもあります。こ の授業は、アウシュビッツに行くなど2回 のスタディ・トリップがあるため、授業 数は少ないです。学生主体で進められ ており、他の学生のレベルが高いため、事 前に少し知識をつけていくとより理解し やすかったかな、と思います。
3	Polish Language	Roman	約230 分／週	6ECTS	8人	週に2回、授業があります。私たちのク ラスは少人数なので質問なども比較的し やすいです。
4	English		90分 ／週	0 ECTS	20人	映画についての授業です。レベルはあま り高くはなく、軽いディスカッションを 通して楽しみながら参加できます。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は大きく分けて、講義形式とセミナー形式があります。講義形式では、50人以上の学生が参加しているものもあるようです。セミナー形式では30人以下が多いと思います。成績評価については、プレゼンテーションをする授業が多いように感じます。レポートやテスト、出席も反映されることがあります。私は英語で開講されている授業しか履修していないため、授業では留学生が多く、現地学生の様子はあまりわかりません。

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

ポーランドに着いて3カ月が経過しました。正直に言って、初めの2週間は本当につらかったです。慣れない土地で、様々な手続きがあり、しかも日本のようにスムーズではありません。私はこちらで銀行口座を開いたのですが、予想以上に英語が通じずに、てこずりました。大学寮も聞いていたものとは異なり、戸惑いました。私にはもともとポーランド人の知り合いがいなかったため、とても不安でした。

しかし、3カ月たった今、クラクフという街を選んで本当に良かったと感じています。物価は安く、何よりも街がとても美しいです。観光地ということもあり、差別や治安の面で怖い思いをするということもほとんどありません。ただ、最近では大気汚染が問題となっているようで、大きなマスクを着用しているポーランドの方をまれに見かけます。まだ12月ですが、寒さも恐れていたほどひどくはなく、風邪もひかずに暮らすことができます。交通費や博物館の入場料など、学生のための割引がとても多いです。私はルームメイトと入場無料の曜日を調べ、博物館めぐりをしたりしました。大学のESNという団体が留学生向けに、様々なイベントを開催しているようです。また、日本語学科のポーランド人の学生が時々開催してくれるパーティーでは、友達ができやすく有り難いです。

寮や授業を通して、日本人学生とも他の国からの留学生とも、色々な人々と知り合うことができました。毎日英語を使ってコミュニケーションをとるので、少しは上達もしたかなと感じています。留學生活の中で、私が今一番魅力的だと感じているのは、自分の時間を多く得ることができる、ということです。将来のことについてゆっくり考える、イベントに参加して色々な人に会う、旅行に行く等、とても充実しています。

もちろん、知識も語学力もまだまだ不足しており、授業には予習が欠かせません。幸運にも、私がとっている授業の教授はとても親身に優しい方々ばかりで、期末レポートについての相談やプレゼンテーションをチェックしてくださったりしました。2月にある期末テストにも不安を抱いていますが、毎日コツコツと復習を進めようと思います。

残すところの留學生活、何かを得た、と胸を張って語れるように大事に過ごそうと思います。